

## マスク不足の中で

国民約38万人が亡くなったという20世紀最悪の伝染病、スペイン風邪。それからちょうど100年、現世を生きる誰もが未経験の事態となっています。この新型コロナウイルス感染症の流行当初、特にマスクの欠乏がいわれ、実際に入手困難になりました。ならば自分は「買わない」と決めたのは、仏壇の亡き父や祖父の遺影が「遅さをなくすな」と諭しているように思えたからです。ハンカチに輪ゴムをホチキス留めた自作の「口覆い」でいこう、と。

理由でマスクをそろえられない場合もあり、格差などを生んではならないという思いからの対応でした。

国の配布決定の際、非難ばかりの報道を見て思っていたことがありません。「残念だな」と。政府の方針を批判する気はありませんが、ただ、せっかくなら我々地方自治体に任せればよいではないか。地方には小規模の縫製業者は数多く、経済対策の一助にもなる。配布は、地方こそ強固な地域組織でやれる。もつと我々を頼れ、と。焦れて待っている他の支援策にも通じるところです。

「風雨同舟」（みんなでもに乗り越えよう）と箱に大きく書き、大量のマスクを贈ってくれた国際大学の中国人卒業生のみなさんや匿名で1万枚を超えるマスクを寄贈してくれた市民。手製の布マスクを学校に届け続けるお母さんなど、多くの温かいご支援も。諸外国のような強制力がない中で、ここまで持ちこたえている国もない。自らに自信を持って、今は非難より団結で乗り越えたい。

## 国際大学留学生 お国自慢コーナー ~ boast of my country ~

シリーズ  
第85回

## ブルキナファソ ロンボ ミイエンバさん



## 私の国はこんなところ

私は、コートジボワールに近い西アフリカのブルキナファソから来ました。ブルキナファソには、一度は行ってほしいお勧めの観光地がたくさんあります。例えば、奇岩や岩山によるブルキナファソの独特な風景を楽しめる「ピク・ドゥ・サンドゥー」、世界中の彫刻家による石像が点在する「ラオンゴ彫刻シンポジウム」「ボボ・ディウラツソの大モスク」などです。また、金・リン酸塩・綿などの天然資源が豊富で、ライオン・トラ・ゾウなどの野生動物も多く生息しています。ブルキナファソの人びとは日本人と同じくらいとても親切で、南魚沼の人たちが会ったらすぐに好きになると思います。

## 南魚沼市に住んで感じたこと

私は、日本各地での滞在や南魚沼での生活を本当に楽しんでます。地域の人たちの優しさや、いつもサポートをしてくれることに心から感謝しています。スノーボードとスキーは初めてでしたが、とても楽しく、今でも私のお気に入りの経験です。他にも、花火大会や裸押合大祭などの多くの行事を楽しみました。ここでの生活のすべてに感謝します。



## ブルキナファソ

[公用語]	フランス語
[首都]	ワガドゥグー
[面積]	274,200 km <sup>2</sup> (72位)
[人口]	20,321,378人
[GDP(PPP)]	277億ドル (119位)
[通貨]	CFAフラン (XOF)

※GDPは国内総生産のことで、購買力平価説(PPP)により算出した数値です